

# スカッファイルミネーション

## 取付要領書

### 品 番

|     |   |             |               |
|-----|---|-------------|---------------|
| 品 番 | A | ショートホイールベース | 08266 - 50010 |
|     | B | ロングホイールベース  | 08266 - 50070 |

### 構成部品

| スカッファイルミネーション |                   |             |    |    |
|---------------|-------------------|-------------|----|----|
| No.           | 品 名               | 品 番         | 個数 |    |
|               |                   |             | A  | B  |
| 1             | スカッフプレート (フロントRH) | 08266-50011 | 1  | 1  |
| 2             | スカッフプレート (フロントLH) | 08266-50012 | 1  | 1  |
| 3             | スカッフプレート (リヤRH)   | 08266-50013 | 1  | -  |
|               |                   | 08266-50073 | -  | 1  |
| 4             | スカッフプレート (リヤLH)   | 08266-50014 | 1  | -  |
|               |                   | 08266-50074 | -  | 1  |
| 5             | 電源ハーネス            | —           | 2  | 2  |
| 6             | クランプ              | —           | 20 | 20 |
| 7             | スポンジテープ (大)       | —           | 2  | 2  |
| 8             | スポンジテープ (小)       | —           | 10 | 10 |
| 9             | 取扱書               | —           | 1  | 1  |

## 取り付け上の注意事項

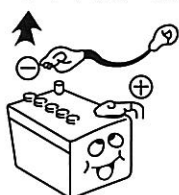
この取付要領書では安全な作業をしていただく為、特にお守りいただきたいことを次のマークで表示しています

- ⚠ **注意** ……注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等の恐れがあることを記載しています
- 🔊 **アドバイス** ……スピーディーに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています

1. 車両を水平な場所に停車してパーキングブレーキを引き、輪留めを確実に行ってください。
2. 下回り作業中は安全に配慮し、エンジン始動および乗車は絶対しないでください。
3. 車両部品の取りはずしに際しては、タッピング・スクリューやボルト、ナット類を紛失しないよう部品毎に整理し、復元作業時に間違いのないよう配慮してください。また、車両および取りはずした部品に傷を付けないよう取り扱いには充分注意してください。
4. バッテリー復元作業終了後、車両機能部品に初期化が必要な部品がありますので、作業終了後には必ず初期化作業を行ってください。

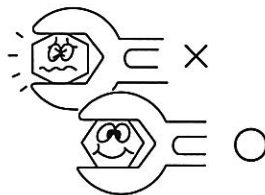
### 取り付ける前に

- バッテリーの(－)側ケーブルをはずす

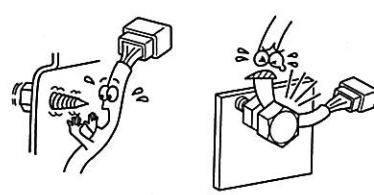


### 部品の取り付けは

- 寸法にあった工具を使う

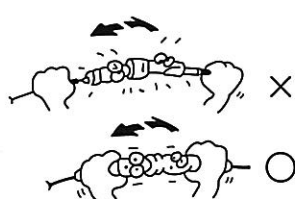


- 裏側に注意し、ハーネス噛み込みに注意する



### 配線は

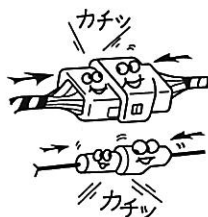
- コネクタは本体を持てはずす



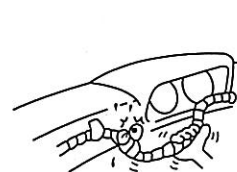
- 車両ハーネスとまとめたり、クランプを使用して固定する



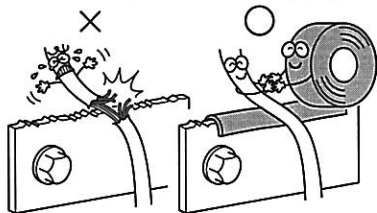
- コネクタは確実に接続する



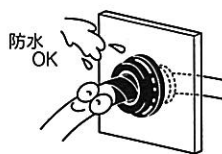
- 無理に引っ張らない



- バリ・エッジ部はガムテープ等で保護する



- グロメットから配線する場合は、防水処理を完全にする



- 車両部品が確実に復元できるようハーネスを処理する



### クランプは

- はだか線にはクランプしない

- 余った部分をカットする

- カットした端末が他のハーネスと接触しないように注意する

- コネクタを異音が出ないようにクランプする



### 取り付け完了後は

- 取りはずした車両部品は確実に復元する



## ⚠ 注意

バッテリー接続中に作業を行う場合は、エアバッグセンサー等に衝撃を与えないよう充分注意してください。

## 取り付けに必要な工具等

- ・一般工具、トヨタエレクトリカルテスター、ニッパー、ビニールテープ、保護テープ、保護シート
- ・参照マニュアル・・・修理書、配線図集等

## 始業点検

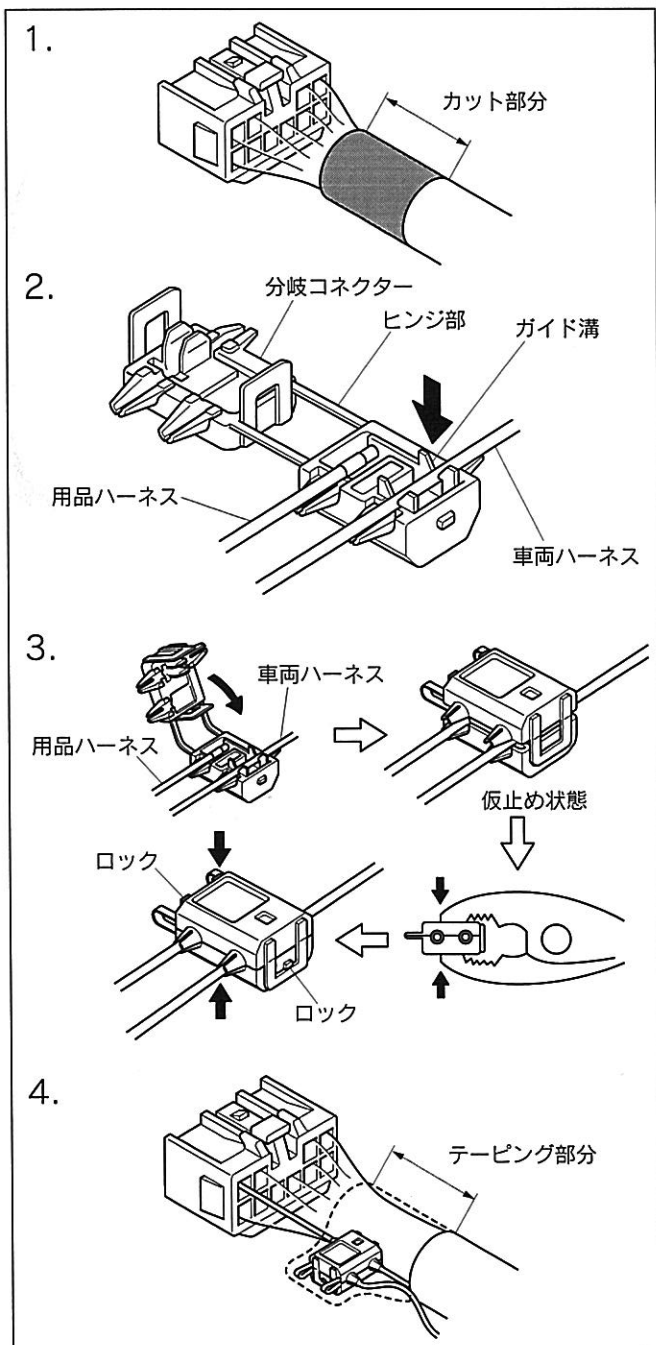
ドアロック・パワーウインド・インジケーター等、電気系統の作動確認を実施してください。

## 分岐コネクターの接続方法

### 分岐コネクタ使用上の注意事項

1. 車両のビニールチューブ等をカットする際は、車両ハーネスを傷付けないよう充分注意してください。
2. 分岐コネクタは、他の用品が装着されている場合でも必ず、車両ハーネスに接続してください。
3. 分岐コネクタ接続時に、クリック音と合わせてロック（2箇所）が確実に嵌合した事を確認してください。
4. 接続するコネクタの端子番号および、用品ハーネスと車両ハーネスの線色を確認し、誤った接続をしないよう充分注意してください。
5. 同一コネクタに複数の分岐コネクタを接続する場合は、接続位置をずらしてください。
6. ヒンジ部が破損しても確実にロック（2箇所）できれば性能上問題ありません。
7. 一度使用した分岐コネクタは再使用しないでください。誤って接続した場合、分岐コネクタを車両ハーネスに付けたまま用品ハーネスを切断し、ビニールテープで絶縁処理してください。

### 分岐コネクタの接続手順



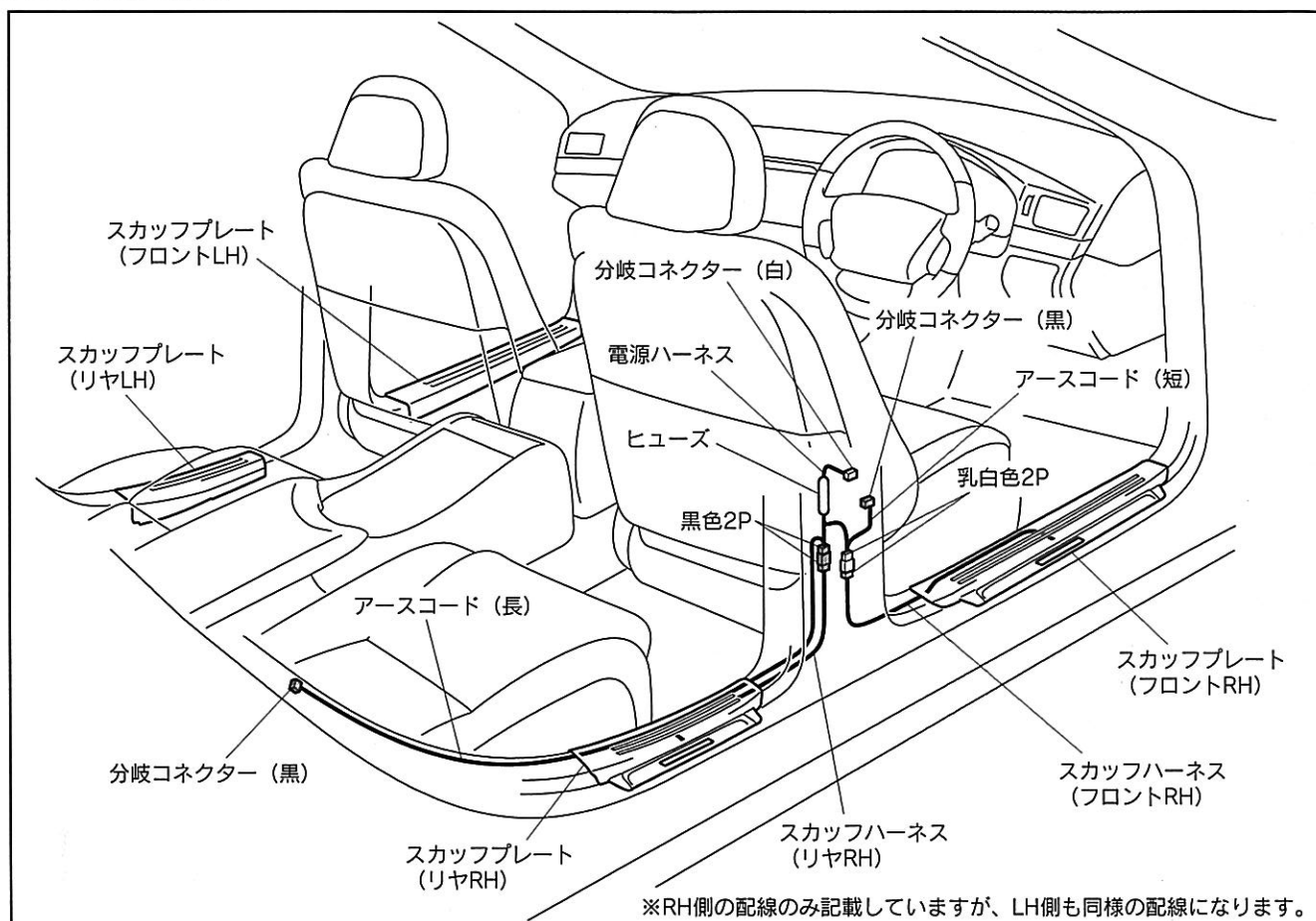
1. 接続する車両ハーネスがビニールチューブおよびビニールテープで覆われている場合は、適量をカットしてください。

2. 接続する車両ハーネスを確実にガイド溝へ挿入してください。

3. 車両ハーネスをガイド溝に収めた後、分岐コネクタを折り返し、仮止め状態を作りプライヤー等の工具を使用して左右のロックがかかるまで確実に挟み込んでください。（クリック音を確認）

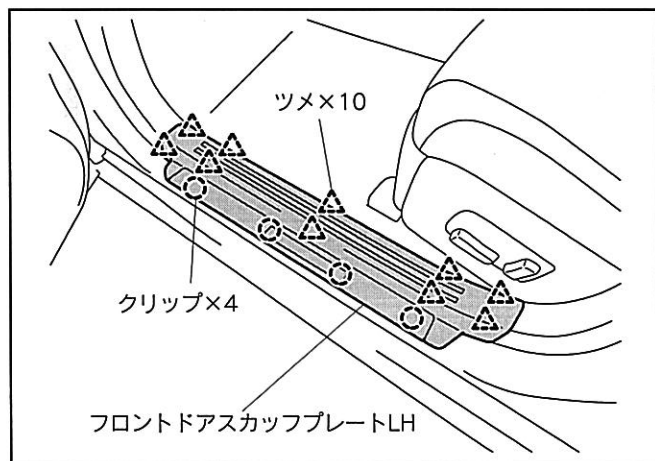
4. 分岐コネクタ接続位置を、テーピング処理してください。

## 取付概要



HT-CG-001

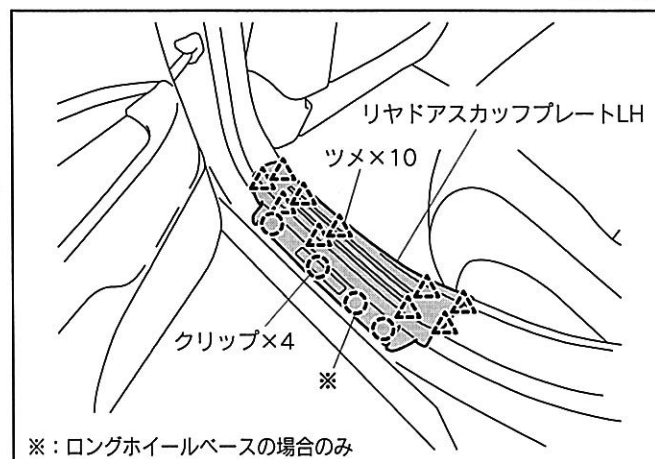
## 車両部品の取りはずし



HT-CG-A01

### フロントドアスカッフプレートの取りはずし

1. クリップ (4箇所) 及びツメ (10箇所) をはずし、フロントドアスカッフプレート LH を取りはずす。
2. RH 側も同様に取りはずす。



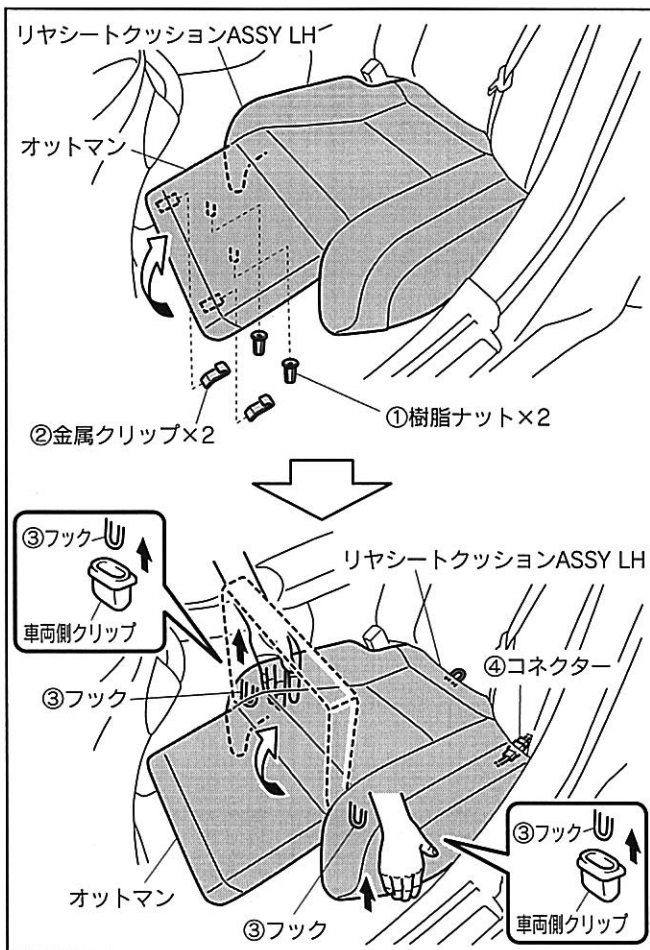
HT-CG-A02

### リヤドアスカッフプレートの取りはずし ＜ロングホイールベースの場合＞

1. クリップ (4箇所) 及びツメ (10箇所) をはずし、リヤドアスカッフプレート LH を取りはずす。
2. RH 側も同様に取りはずす。

### ＜ショートホイールベースの場合＞

1. クリップ (3箇所) 及びツメ (10箇所) をはずし、リヤドアスカッフプレート LH を取りはずす。
2. RH 側も同様に取りはずす。



## リヤシート ASSY の取りはずし

### <後席セパレートシートの場合>

1. リヤシート LH のオットマンを一番上に引き出した状態にする。
2. オットマン裏側の①樹脂ナット (2 個) 及び②金属クリップ (2 個) をはずす。
3. リヤシートクッション ASSY LH 前端の③フック (2 箇所) を真上へ持ち上げて、嵌合をはずす。

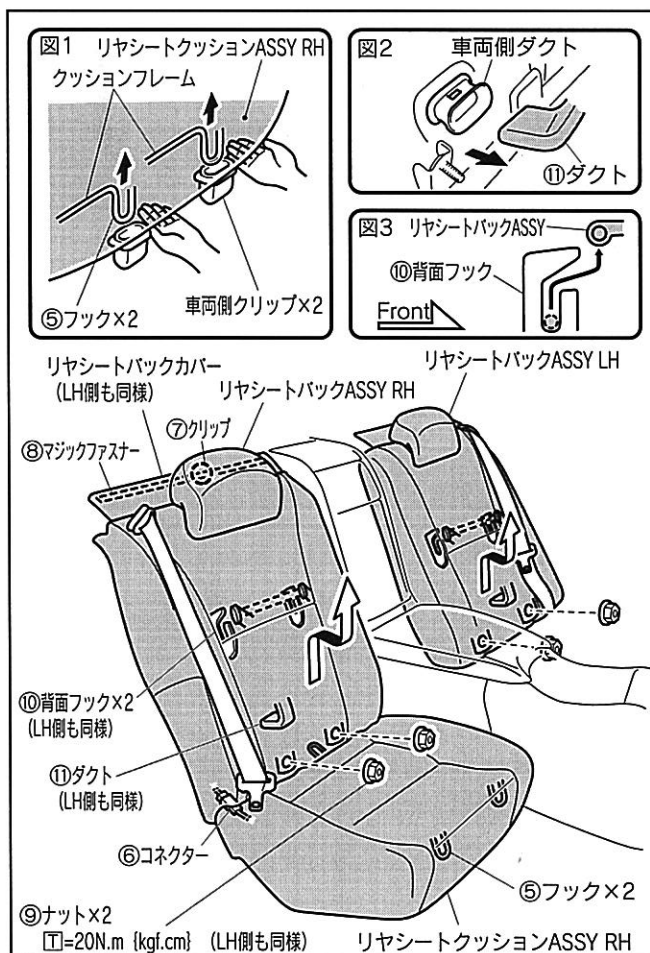
#### ⚠ 注意

③フック (2 箇所) をはずす際、クッションフレームが変形する恐れがある為、③フックの根元付近から一挙に真上へ持ち上げてください。

4. ④各コネクターの嵌合をはずし、リヤシートクッション ASSY LH を取りはずす。

#### ⚠ 注意

リヤシートクッション ASSY LH を取りはずす際、オットマンの表皮を破損させないように充分注意してください。



5. 図 1 に従い、リヤシートクッション ASSY RH を真上へ持ち上げて、⑤フック (2 箇所) の嵌合をはずす。

#### ⚠ 注意

⑤フックをはずす際、クッションフレームが変形する恐れがある為、⑤フックの根元付近から一挙に真上へ持ち上げてください。

6. ⑥各コネクターの嵌合をはずし、リヤシートクッション ASSY RH を取りはずす。(全体図参照)
7. ⑦クリップ及び⑧マジックファスナーをはずし、リヤシートバックカバーを車両からはずす。(全体図参照)
8. リヤシートバック ASSY RH の⑨ナット (2 個)、⑩背面フック (2 箇所) 及び⑪ダクトをはずす。(全体図、図 2,3 参照)

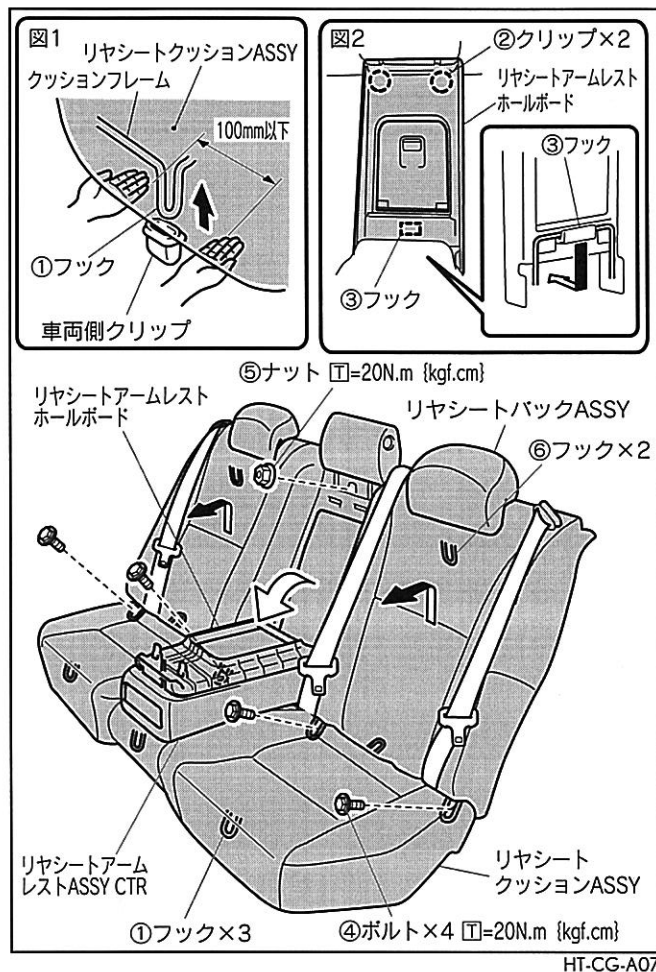
#### 👉アドバイス

1. ⑩背面フックは、図 3 の様にリヤシートバック ASSY を動かし、はずしてください。
2. 車両仕様により、⑪ダクトが無い場合があります。
3. リヤシートバック ASSY を車両から降ろす必要はありません。

9. リヤシートバック ASSY LH も同様に取りはずす。

#### ⚠ 注意

復元の際は、図中の指定トルクに従い締め付けてください。



## < 一体固定式シートの場合 >

- 図1に従い、リヤシートクッションASSYを真上へ持ち上げて、①フック（3箇所）の嵌合をはずし、リヤシートクッションASSYを取りはずす。

### ⚠ 注意

①フックをはずす際、クッションフレームが変形する恐れがある為、①フックの根元付近を持ち上げてください。

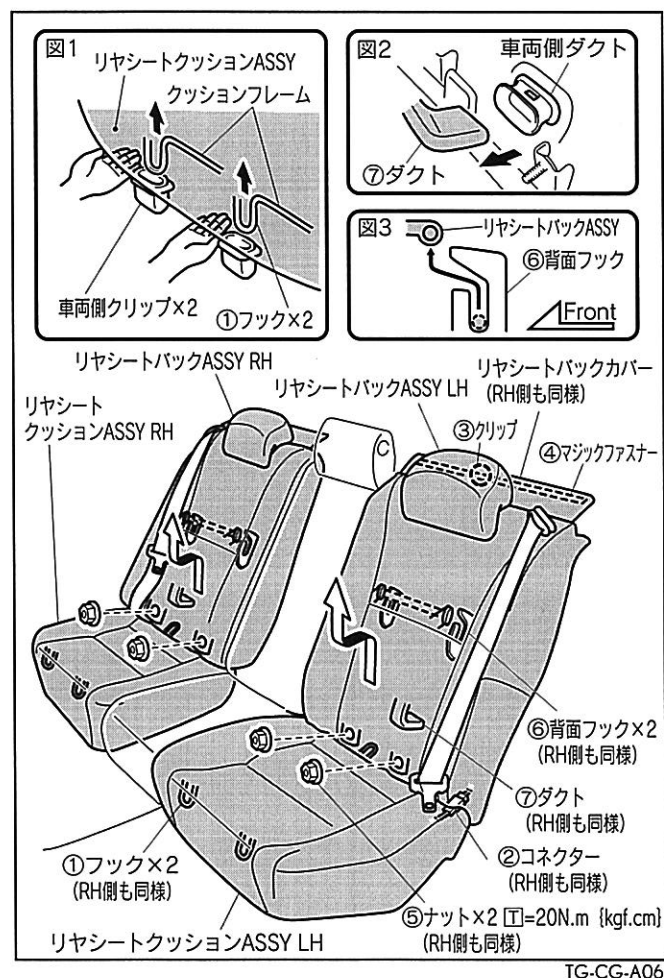
- ②クリップ（2箇所）及び③フック（1箇所）をはずし、リヤシートアームレストホールボードを前方に倒す。（図2参照）
- リヤシートバックASSYの④ボルト（4本）、⑤ナット（1個）及び⑥フック（2箇所）をはずす。（全体図参照）

### 👉 アドバイス

リヤシートバックASSYを車両から降ろす必要はありません。

### ⚠ 注意

復元の際は、図中の指定トルクに従い締め付けてください。



## < パワーシートの場合 >

- 図1に従い、リヤシートクッションASSY LHを真上へ持ち上げて、①フック（2箇所）の嵌合をはずす。

### ⚠ 注意

①フックをはずす際、クッションフレームが変形する恐れがある為、①フックの根元付近から一挙に真上へ持ち上げてください。

- ②各コネクターの嵌合をはずし、リヤシートクッションASSY LHを取りはずす。（全体図参照）
- ③クリップ及び④マジックファスナーをはずし、リヤシートバックカバーを車両からはずす。（全体図参照）
- リヤシートバックASSY LHの⑤ナット（2個）、⑥背面フック（2箇所）及び⑦ダクトをはずす。（全体図、図2,3参照）

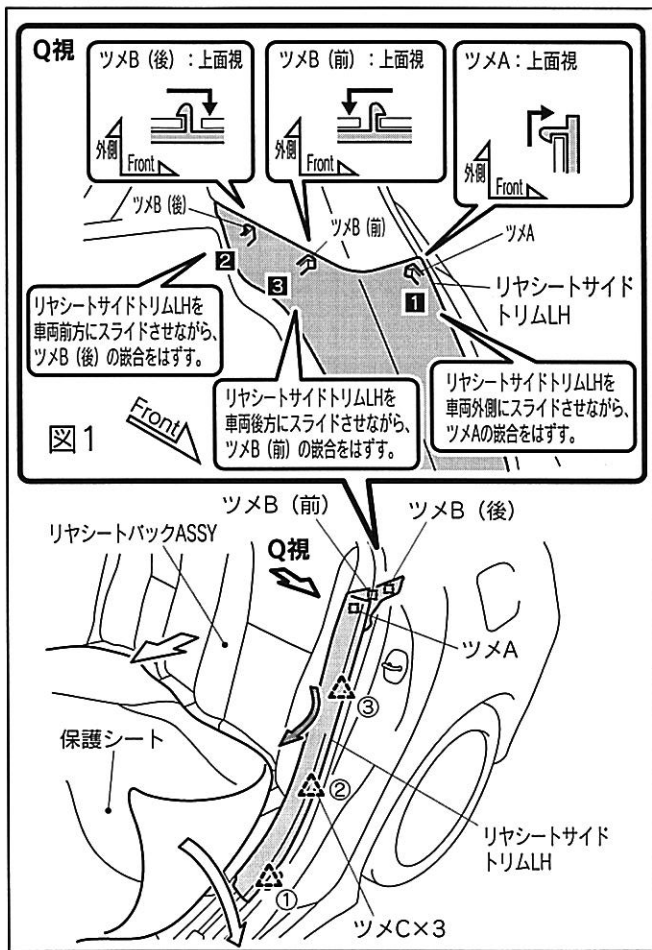
### 👉 アドバイス

- ⑥背面フックは、図3の様にリヤシートバックASSYを動かし、はずしてください。
- 車両仕様により、⑦ダクトが無い場合があります。
- リヤシートバックASSYを車両から降ろす必要はありません。

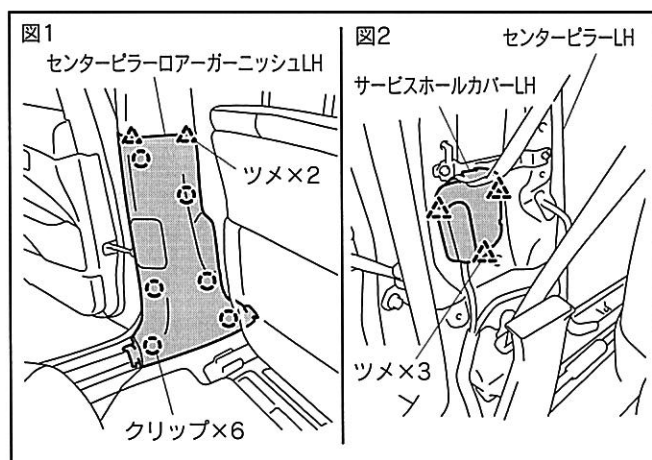
- RH側も同様に取りはずす。

### ⚠ 注意

復元の際は、図中の指定トルクに従い締め付けてください。

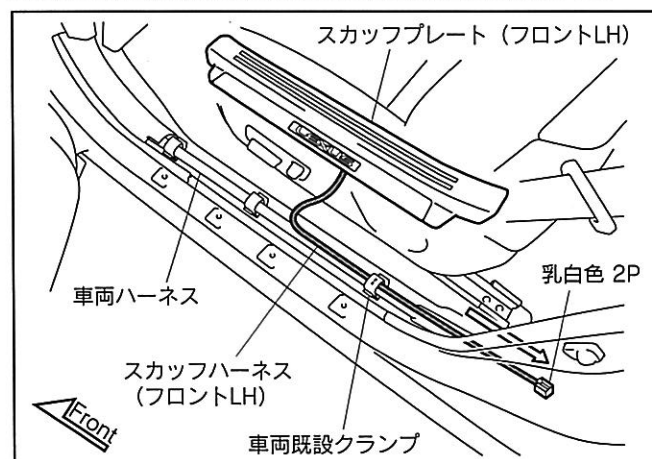


HT-CG-A03



HT-CG-A04

## スカッフプレートの取り付け



HT-CG-B01

## リヤシートサイドトリムの取りはずし

1. リヤシートバック ASSY を車両前方に傾ける。

### ⚠ 注意

リヤシートバック ASSY の傷付き、汚れ防止の為、リヤシートバック ASSY を傾ける際、必ず車内に保護シートを敷いてください。

2. 図 1 の ❶ ~ ❸ の手順に従い、ツメ A (1 箇所) 及びツメ B (2 箇所) の嵌合をはずす。
3. 図中①~③の手順に従い、ツメ C (3 箇所) の嵌合をはずし、リヤシートサイドトリム LH を取りはずす。

### ⚠ 注意

1. ツメ A 及びツメ B の嵌合をはずす際、必ず図 1 の ❶ ~ ❸ の手順に従い、作業してください。無理に嵌合をはずすとツメが破損します。
2. ツメ A 及びツメ B は、2 ~ 3mm 程度ずらすと嵌合がはずれますので、必要以上に引っ張ったりしないでください。

4. RH 側も同様に取りはずす。

## センターピラーローアガーニッシュ及びサービスホールカバーの取りはずし

1. ツメ (2 箇所) 及びクリップ (6 箇所) をはずし、センターピラーローアガーニッシュ LH を取りはずす。(図 1 参照)
2. ツメ (3 箇所) をはずし、サービスホールカバー LH を取りはずす。(図 2 参照)
3. RH 側も同様に取りはずす。

「スカッフプレートの取り付け」は LH 側の作業要領を示しますが、特に指示のない限り、RH 側も同様に作業を行ってください。

## ハーネスの仮配線 (フロント側)

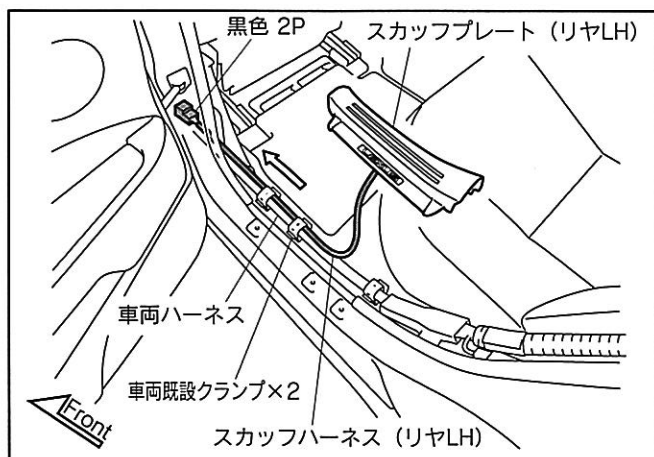
スカッフプレート (フロント LH) のスカッフハーネス (フロント LH) を、車両ハーネスに沿ってセンターピラー LH へ仮配線する。

### ⚠ 注意

ハーネス噛み込みの恐れがある為、ハーネスは、車両既設クランプに通して配線してください。

### 👉 アドバイス

スカッフプレートは、作動確認終了後に取り付けますので、作業の邪魔にならない位置に仮置きしてください。



HT-CG-B02

### ハーネスの仮配線 (リヤ側)

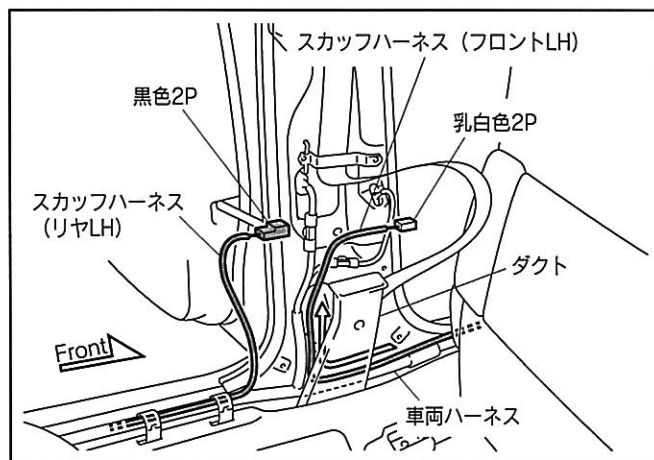
スcaffプレート (リヤLH) のスcaffハーネス (リヤLH) を、車両ハーネスに沿ってセンターピラー LH へ仮配線する。

#### ⚠ 注意

ハーネス噛み込みの恐れがある為、ハーネスは、車両既設クランプに通して配線してください。

#### 👉 アドバイス

スcaffプレートは、作動確認終了後に取り付けますので、作業の邪魔にならない位置に仮置きしてください。



HT-CG-B03

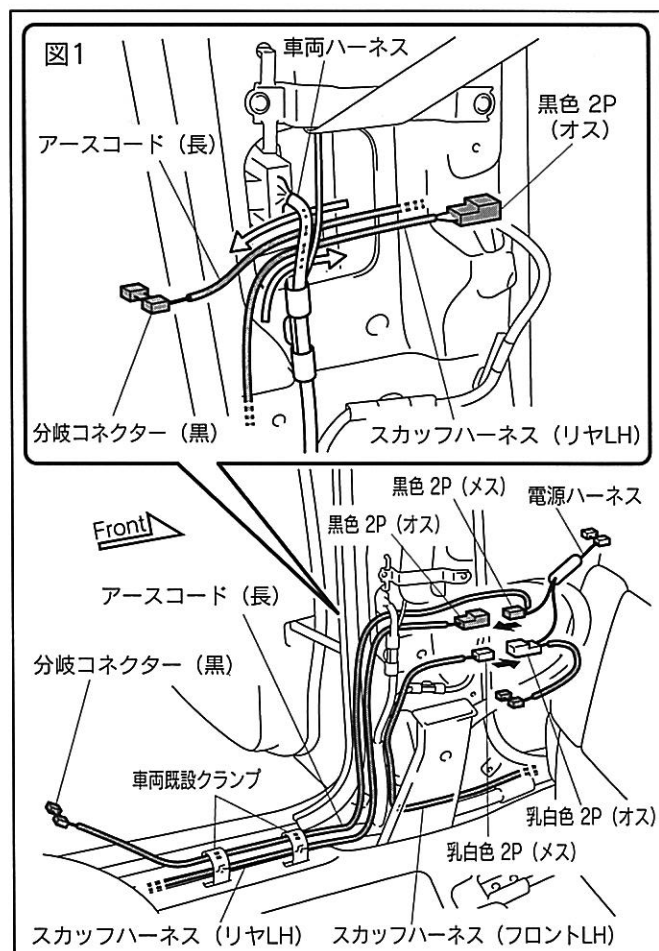
### ハーネスの仮配線 (センターピラー部)

1. スcaffハーネス (フロント LH) を車両ハーネスに沿って、センターピラー LH まで配線する。

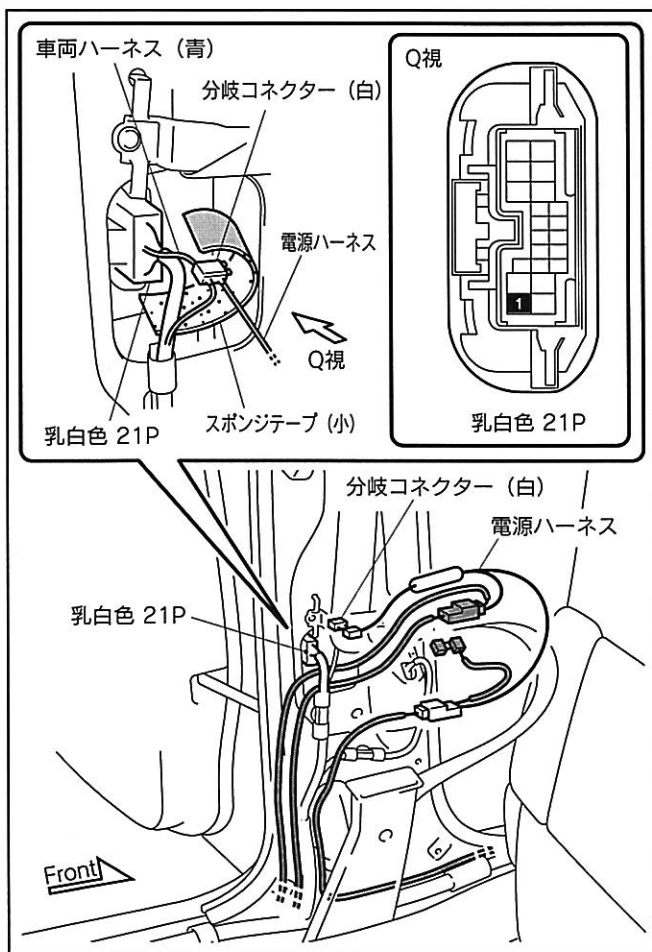
2. 図1に従い、スcaffハーネス (リヤ LH) 及び電源ハーネスのアースコード (長) を、車両ハーネスの車両外側に通す。
3. 電源ハーネスの黒色 2P コネクター (メス) を、スcaffハーネス (リヤ LH) の黒色 2P コネクター (オス) に接続する。
4. スcaffハーネス (フロント LH) の乳白色 2P コネクター (メス) を、電源ハーネスの乳白色 2P コネクター (オス) に接続する。
5. アースコード (長) を、車両ハーネスに沿って車両後方へ配線する。

#### ⚠ 注意

アースコード噛み込みの恐れがある為、アースコードは、車両既設クランプに通して配線してください。



HT-CG-B04



HT-CG-B05

## 電源ハーネスの接続

### < LH 側の場合 >

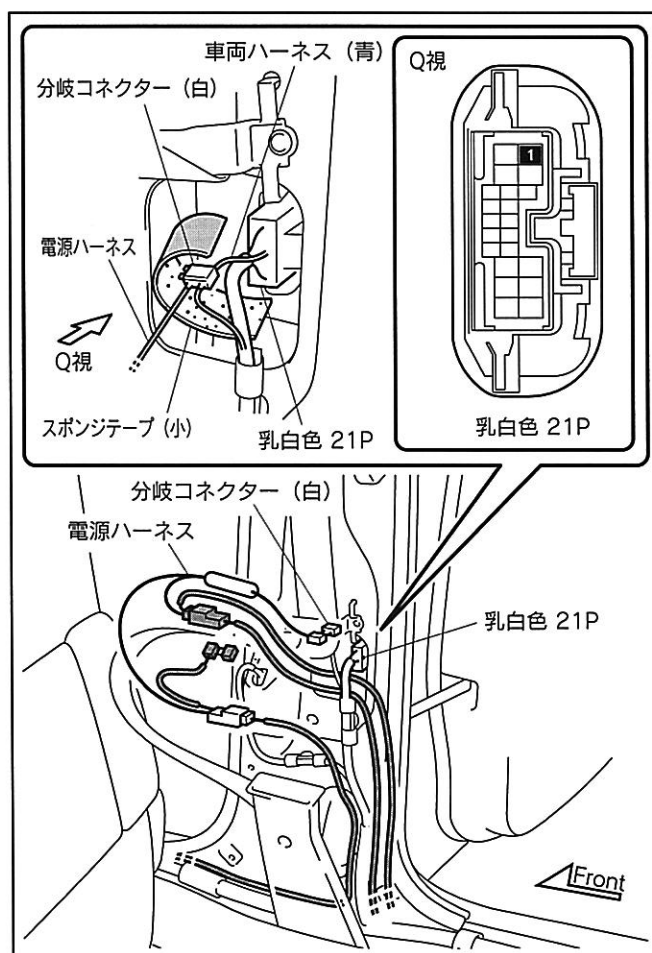
1. 電源ハーネスの分岐コネクタ (白) を、センターピラー LH の乳白色 21P コネクタまで配線する。
2. 乳白色 21P コネクタの 1 番コード (青) に、分岐コネクタ (白) を接続する。
3. 接続した分岐コネクタ (白) をスポンジテープ (小) で車両ハーネスと共に巻いて保護する。

#### ⚠ 注意

コネクタ内に同じ線色が複数ありますので、接続の際はハーネスの端子番号を確認し、誤った接続をしないよう充分注意してください。

#### 👉 アドバイス

接続作業の際、乳白色 21P コネクタを取りはずす必要はありません。



HT-CG-B06

### < RH 側の場合 >

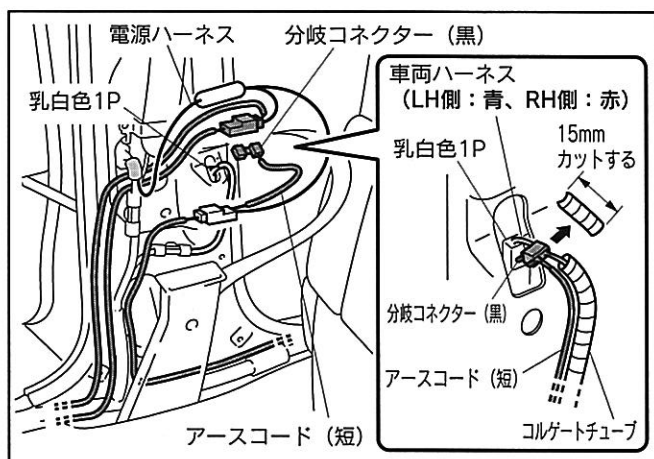
1. 電源ハーネスの分岐コネクタ (白) を、センターピラー RH の乳白色 21P コネクタまで配線する。
2. 乳白色 21P コネクタの 1 番コード (青) に、分岐コネクタ (白) を接続する。
3. 接続した分岐コネクタ (白) をスポンジテープ (小) で車両ハーネスと共に巻いて保護する。

#### ⚠ 注意

コネクタ内に同じ線色が複数ありますので、接続の際はハーネスの端子番号を確認し、誤った接続をしないよう充分注意してください。

#### 👉 アドバイス

接続作業の際、乳白色 21P コネクタを取りはずす必要はありません。



HT-CG-B07

## アースコード (短) の接続

1. 電源ハーネスのアースコード (短) の分岐コネクタ (黒) を、フロントドアカーテシスイッチ LH の乳白色 1P コネクタまで配線する。
2. 図に従い、車両ハーネスのコルゲートチューブを 15mm カットする。

### ⚠ 注意

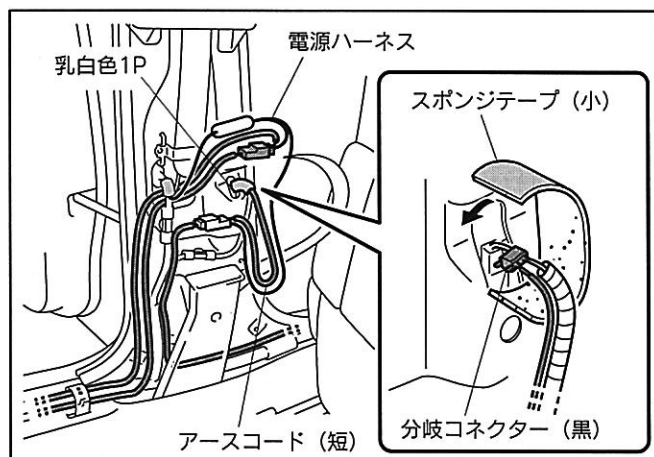
コルゲートチューブ内の車両ハーネスを傷付けないよう充分注意して作業を行ってください。

3. 乳白色 1P コネクタの車両ハーネス (LH 側: 青、RH 側: 赤) に分岐コネクタ (黒) を接続する。

### ⚠ 注意

図は LH 側を示しますが、LH 側と RH 側では、接続する車両ハーネスの線色が異なりますので、よく確認してから接続してください。

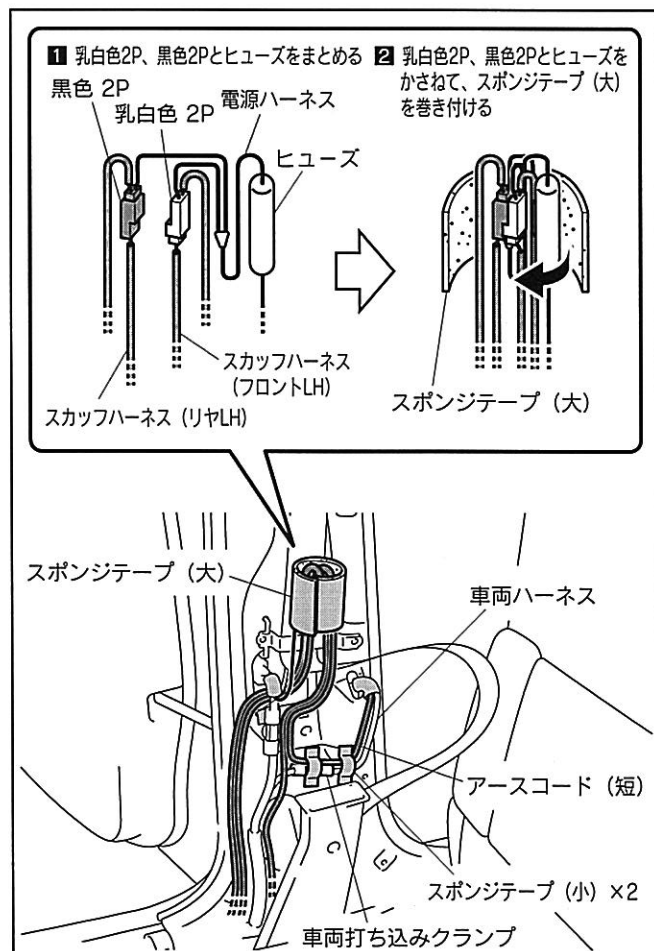
4. 接続した分岐コネクタ (黒) をスポンジテープ (小) で車両ハーネスと共に巻いて保護する。



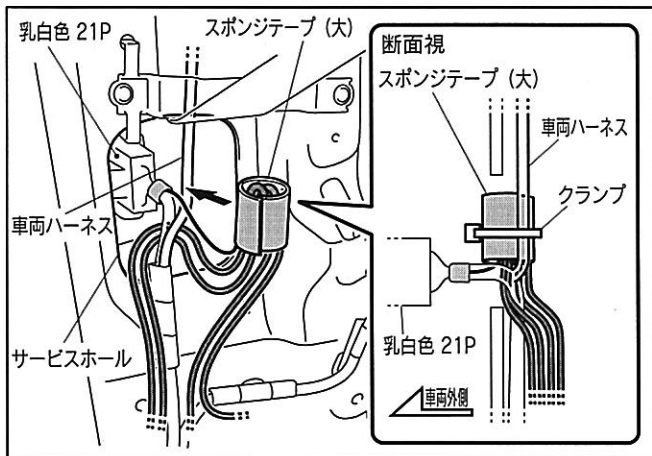
HT-CG-B08

## ハーネスの配線 (センターピラー部)

1. アースコード (短) を車両ハーネスに沿って配線し、車両打ち込みクランプの位置に、スポンジテープ (小) で固定する。
2. 図に従い、電源ハーネス及びスカッフハーネス (フロント LH、リヤ LH) を折り返し、ヒューズ及び乳白色 2P コネクタ、黒色 2P コネクタと共に、スポンジテープ (大) を巻き付ける。



HT-CG-B09

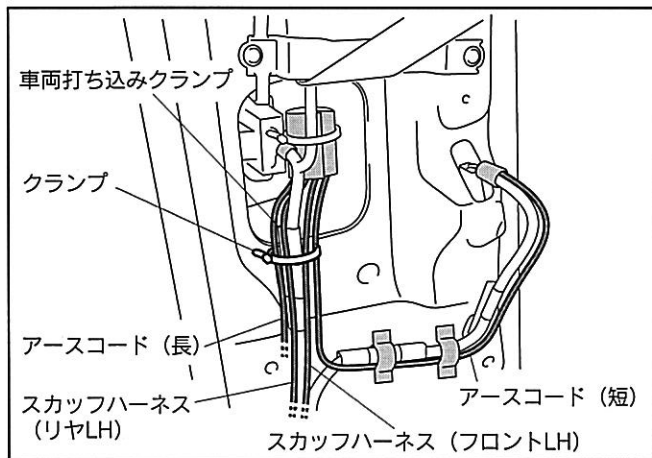


HT-CG-B10

3. スポンジテープ (大) を巻き付けたヒューズ及び乳白色 2P コネクター、黒色 2P コネクターを、クランプで車両ハーネスに固定する。

### ⚠ 注意

サービスホールカバー復元の妨げにならない位置で車両ハーネスに固定してください。

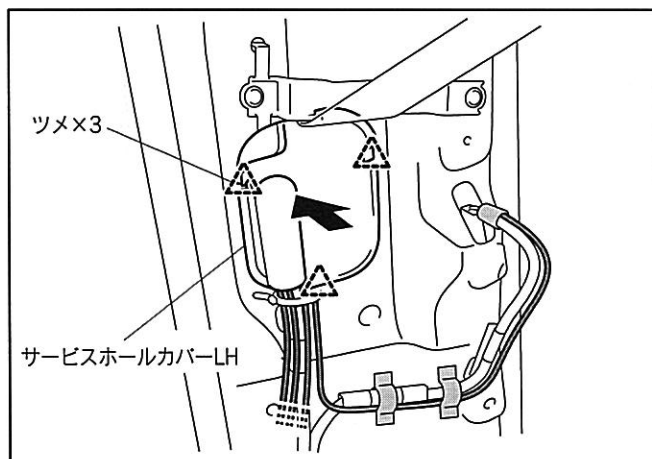


HT-CG-B11

4. スカッフハーネス (フロント LH、リヤ LH) 及びアースコード (長、短) を、車両打ち込みクランプの位置に、クランプで車両ハーネスに固定する。

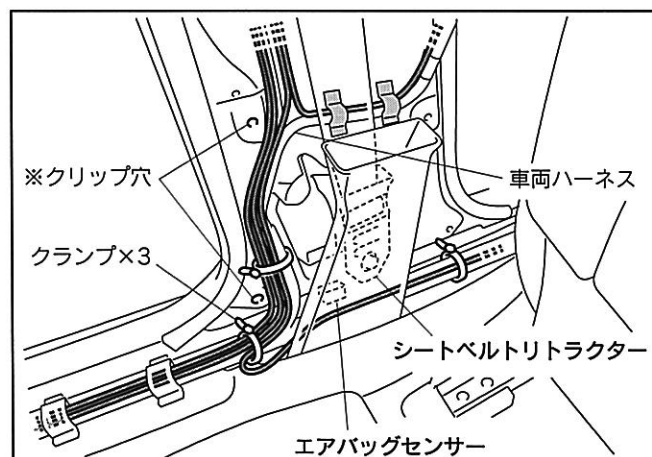
### ⚠ 注意

ハーネスを固定する前に、サービスホールカバーを仮当てし、ハーネスの噛み込みがないことを確認してください。



HT-CG-B12

5. サービスホールカバー LH を復元する。

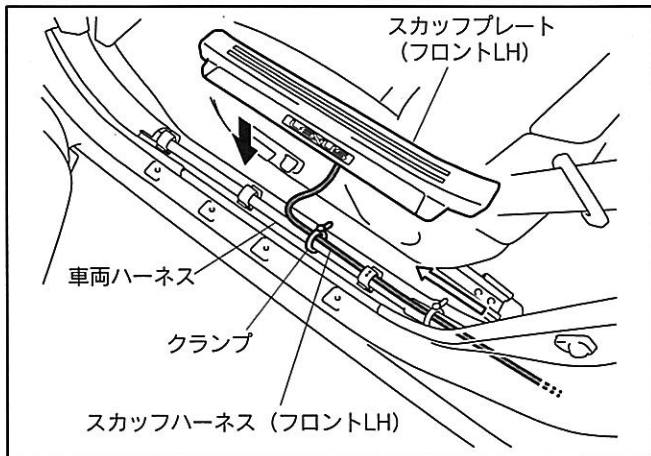


HT-CG-B13

6. スカッフハーネス (フロント LH、リヤ LH) 及びアースコード (長) を、クランプで車両ハーネスに固定する。

### ⚠ 注意

1. ハーネスの固定は、エアバッグセンサー及びシートベルトリトラクターに干渉しない位置で行ってください。
2. ハーネスの固定は、図中※部のクリップ穴を避け、噛み込みのない位置で行ってください。
3. センターピラーロアガーニッシュの復元時に、ハーネスの噛み込みがなく確実に復元できるように作業を行ってください。



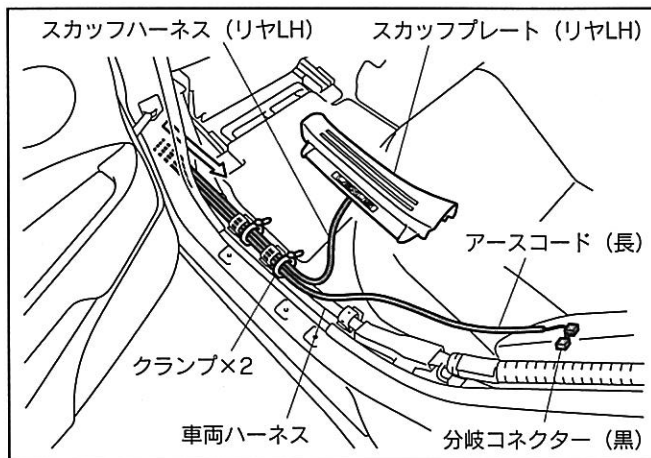
HT-CG-B14

## ハーネスの配線 (フロント側)

1. スカッフハーネス (フロント LH) を車両ハーネスに沿って配線し、クランプで車両ハーネスに固定する。
2. スカッフプレート (フロント LH) を復元位置に仮置きする。

### ⚠️ アドバイス

スカッフプレートは、作動確認終了後に取り付けますので、仮置き状態にしてください。



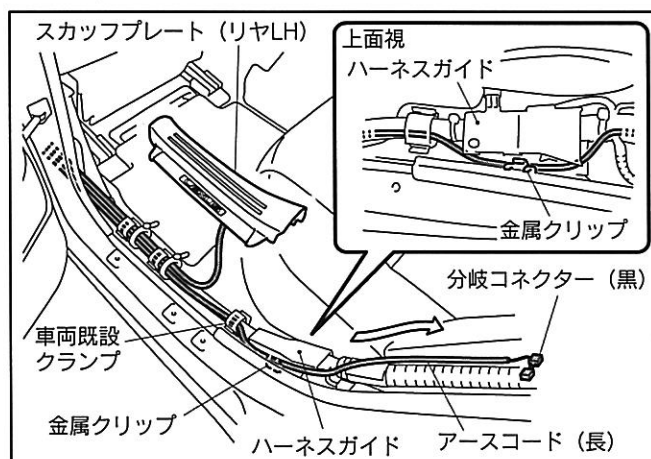
HT-CG-B15

## ハーネスの配線 (リヤ側)

1. スカッフハーネス (リヤ LH) 及びアースコード (長) を車両ハーネスに沿って配線し、クランプで車両ハーネスに固定する。

### ⚠️ アドバイス

スカッフプレートは、作動確認終了後に取り付けますので、仮置き状態にしてください。



HT-CG-B16

2. アースコード (長) を車両既設クランプの中に通し、車両後方へ配線する。

### ⚠️ 注意

アースコード噛み込みの恐れがある為、ハーネスガイドの車両外側から金属クリップの下側を通して、配線してください。

## アースコード (長) の接続

1. アースコード (長) の分岐コネクタ (黒) を車両ハーネスに沿って、リヤドアカーテシスイッチ LH の乳白色 1P コネクタ付近まで配線する。
2. 図に従い、車両ハーネスのコルゲートチューブを 15mm カットする。

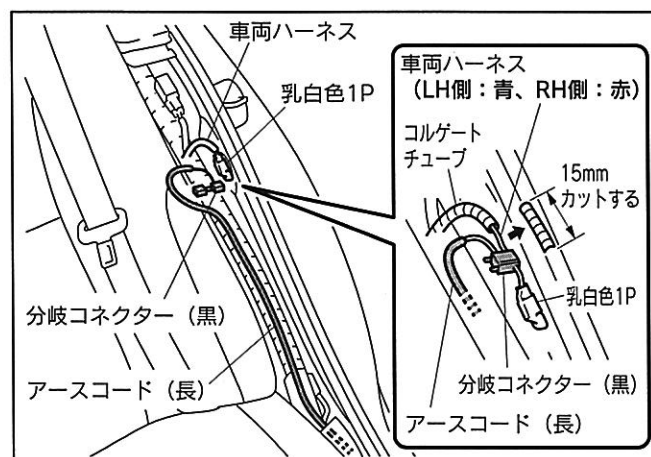
### ⚠️ 注意

コルゲートチューブ内の車両ハーネスを傷付けないよう充分注意してください。

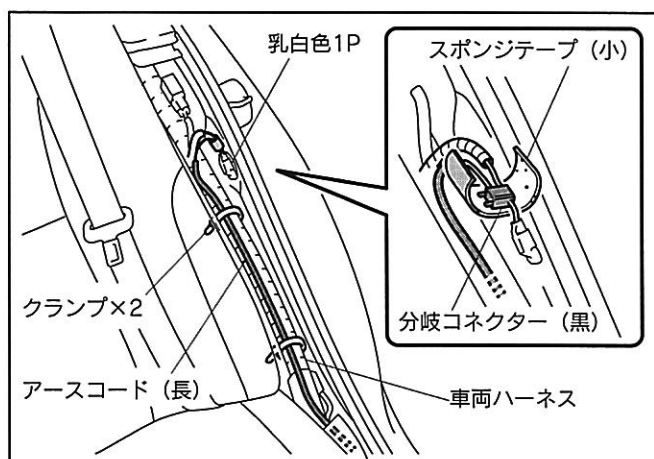
3. 乳白色 1P コネクタの車両ハーネス (LH 側: 青、RH 側: 赤) に分岐コネクタ (黒) を接続する。

### ⚠️ 注意

図は LH 側を示しますが、LH 側と RH 側では、接続する車両ハーネスの線色が異なりますので、よく確認してから接続してください。

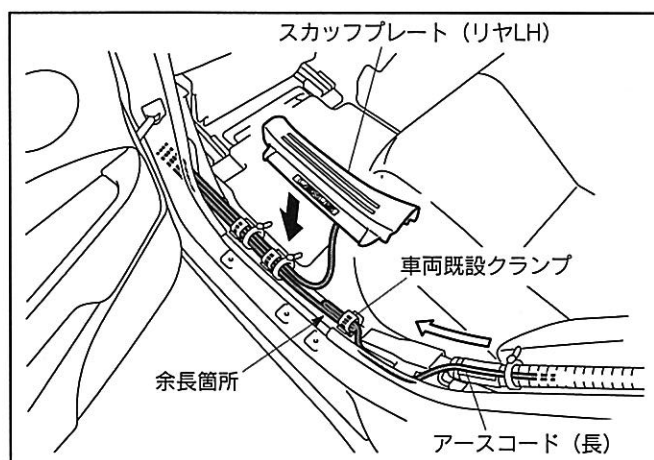


HT-CG-B17



HT-CG-B18

4. 接続した分岐コネクタ（黒）をスポンジテープ（小）で車両ハーネスと共に巻いて保護する。
5. アースコード（長）をクランプで車両ハーネスに固定する。



HT-CG-B19

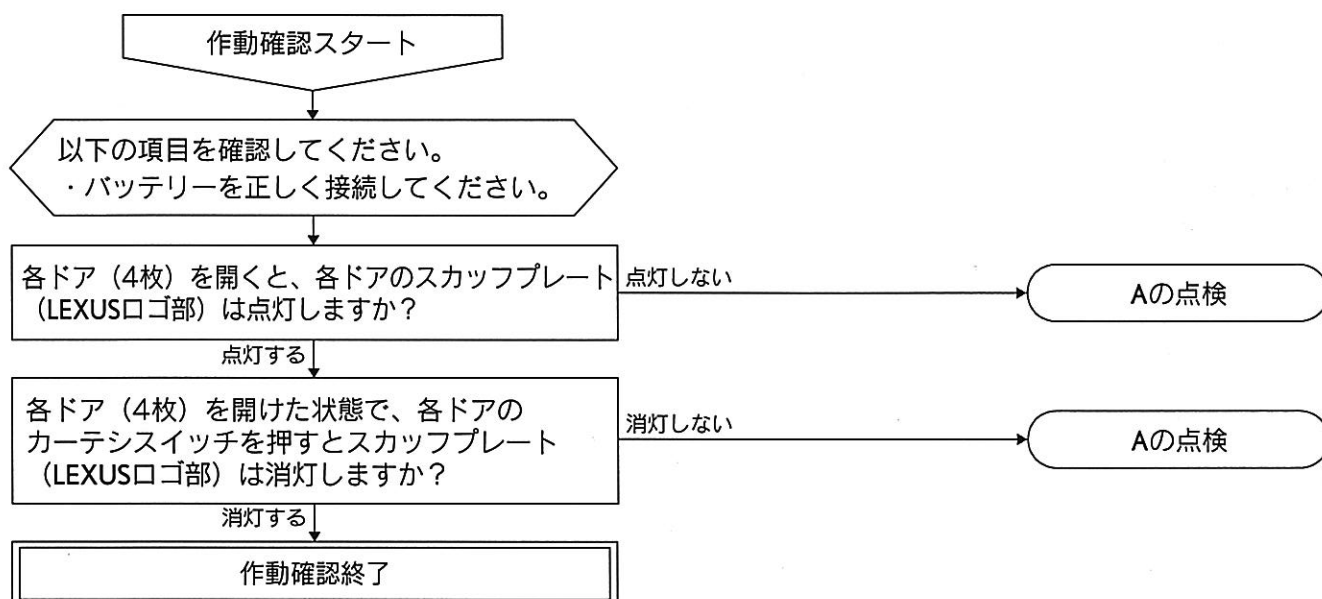
6. アースコード（長）の余長を、図中矢印方向に引き込み、車両既設クランプの位置で処理する。
7. スカッフプレート（リヤ LH）を復元位置に仮置きする。

#### 👉 アドバイス

スカッフプレートは、作動確認終了後に取り付けますので、仮置きの状態にしてください。

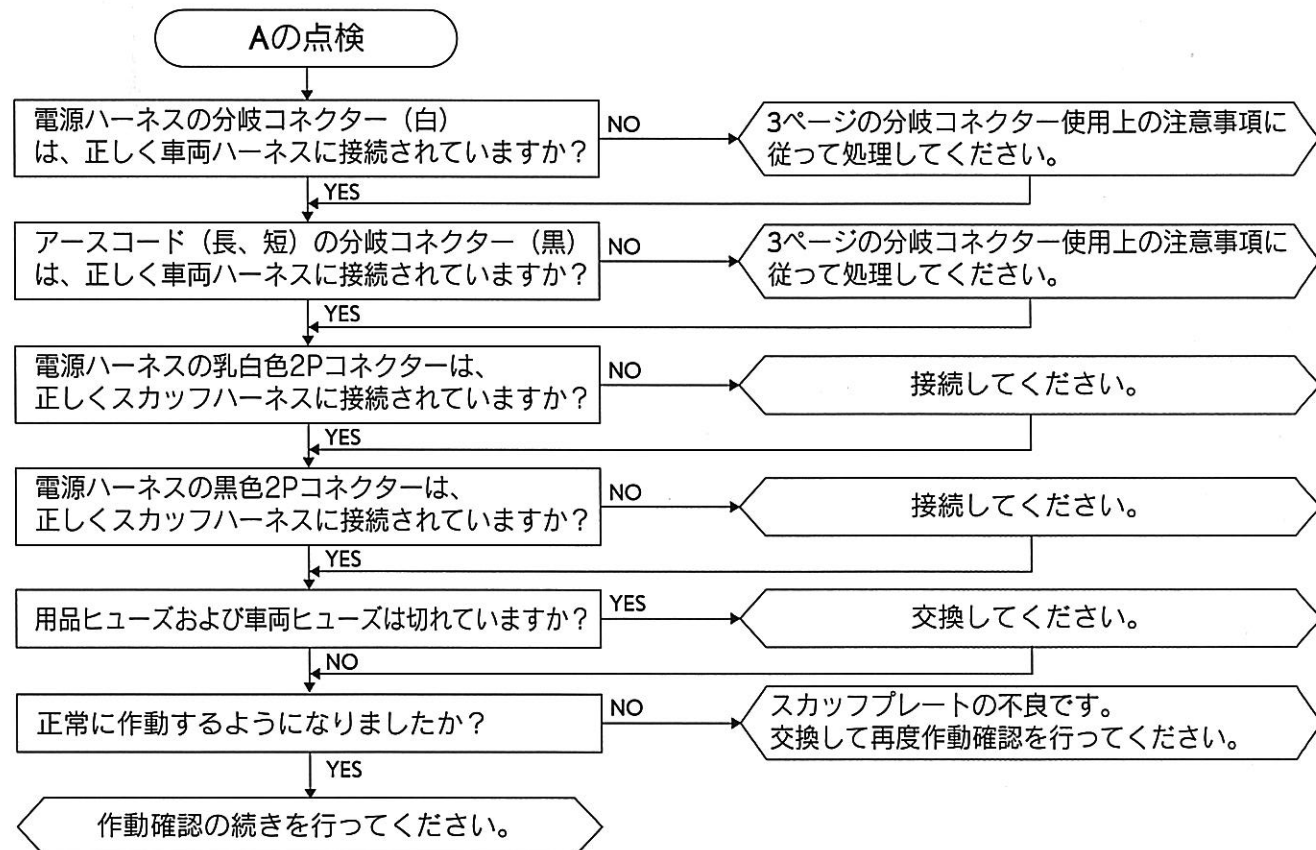
## 作動確認

1. 作動確認を行う前に、配線および取り付けに異常がない事を確認してください。
2. 以下の手順に従って作動確認を行ってください。尚、作動不良が発生した場合は、指示に従って点検作業を実施してください。



## トラブルシューティング

このトラブルシューティングは、作動確認の作業で作動不良となった場合の点検方法を記載してあります。



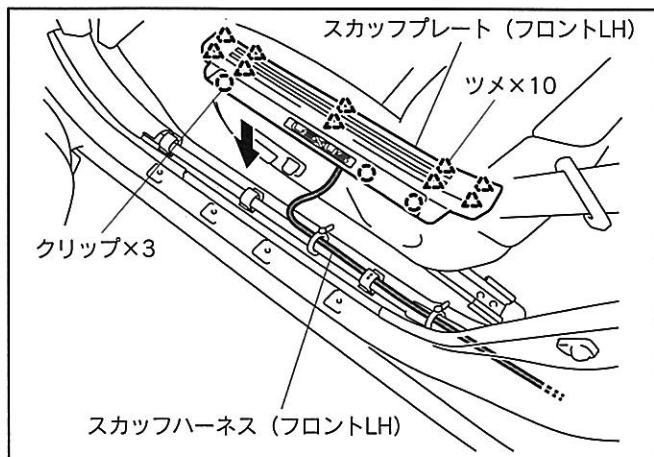
## 復元作業

「作動確認」完了後、取りはずした車両部品を下記の点に注意し、元通りに取り付けてください。

### ⚠ 注意

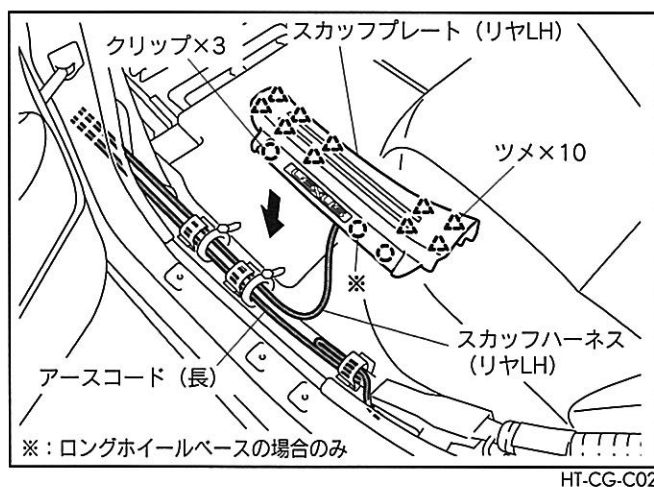
復元作業は、車両ハーネス及び用品ハーネスの噛み込みや、車両部品の損傷に充分注意してください。

## スカッフプレートの取り付け



### スカッフプレート (フロント LH) の取り付け

1. クリップ (3箇所) 及びツメ (10箇所) を嵌合させて、スカッフプレート (フロント LH) を取り付ける。
2. スカッフプレート (フロント RH) も同様に取り付ける。



### スカッフプレート (リヤ LH) の取り付け ＜ロングホイールベースの場合＞

1. クリップ (3箇所) 及びツメ (10箇所) を嵌合させて、スカッフプレート (リヤ LH) を取り付ける。
2. スカッフプレート (リヤ RH) も同様に取り付ける。

### ＜ショートホイールベースの場合＞

1. クリップ (2箇所) 及びツメ (10箇所) を嵌合させて、スカッフプレート (リヤ LH) を取り付ける。
2. スカッフプレート (リヤ RH) も同様に取り付ける。

## バッテリー復元時の注意事項

バッテリー復元作業終了後に、車両機能部品の初期化が必要な部品があります。作業終了後には必ず初期化作業を行ってください。

## 最終確認

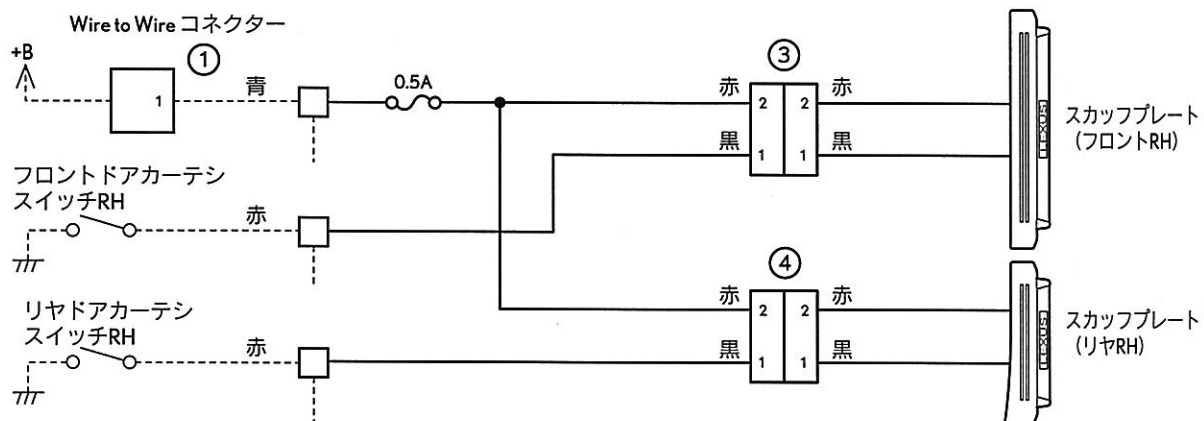
1. ハーネス類の噛み込みおよび、車両部品の取り付けミスがないかもう一度確認してください。
2. ドアロック、パワーウインド、インジケーター等、電気系統に異常がないか確認してください。

### ⚠ 注意

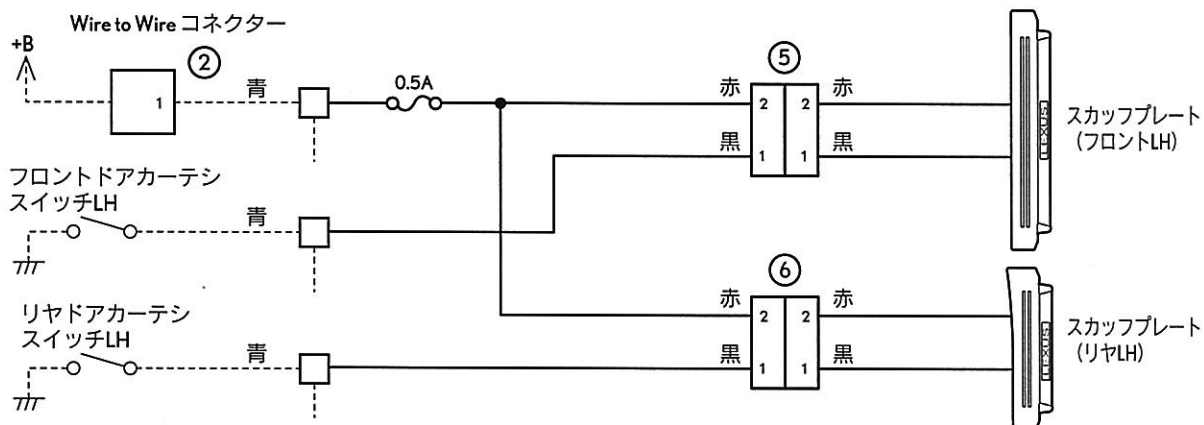
シートベルトを動かし、車両ハーネス及び用品ハーネスに干渉していない事を、必ず確認してください。シートベルト作動不良の原因になる恐れがあります。

# 配線図

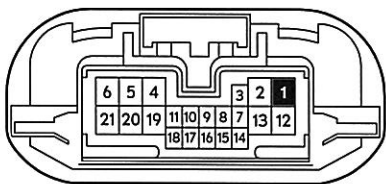
## <RH側>



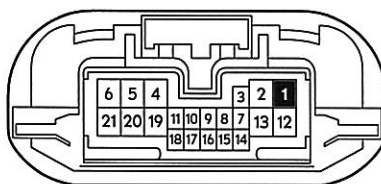
## <LH側>



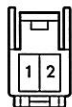
①



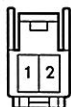
②



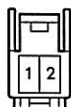
③



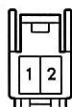
④



⑤



⑥



分岐コネクター  
用品ハーネス  
車両ハーネス